

2017年6月30日

第6期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

エフ・ジー・ジェイ 株式会社

貸借対照表

(2017年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	1,420,348	(負債の部)	2,104,881
流動資産	846,541	流動負債	2,104,881
現金及び預金	4,405	買掛金	197,064
売掛金	222,056	短期借入金	1,725,944
商品	561,679	未払金	133,643
貯蔵品	38,460	未払費用	30,657
前渡金	4,042	未払法人税等	1,006
前払費用	8,765	預り金	3,033
その他流動資産	7,129	賞与引当金	13,530
固定資産	573,806	(純資産の部)	△684,533
有形固定資産	425,996	株主資本	△684,533
建物附属設備	183,595	資本金	5,000
器具及び備品	226,769	利益剰余金	△689,533
建設仮勘定	15,630	その他利益剰余金	△689,533
		繰越利益剰余金	△689,533
無形固定資産	26,741		
ソフトウェア	9,347		
施設利用権	17,394		
投資その他の資産	121,069		
長期前払費用	4,900		
差入保証金	116,168		
合 計	1,420,348	合 計	1,420,348

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

商	品	移動平均法	
貯	蔵	品	最終仕入原価法

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっております。

無形固定資産 定額法によっております。

4. 引当金の計上基準

賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。

6. 会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、従来、有形固定資産の減価償却方法として、主として定率法を採用しておりましたが当期より、定額法に変更しております。
この変更は、保有する有形固定資産の償却方法について、使用状況等を踏まえ改めて見直しを図ったところ、耐用年数の期間内に急激に劣化するものではなく、その効果は安定的に発現すると見込まれるため、定額法を採用した方が実態をより適切に表すと判断したことによるものです。今回の変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当期純損失が36,001千円減少しております。

当期純損益金額

当期純損失 188,581千円